

プロフィール紹介

ヴェッセル・ヴァンデル・ヨーク先生

1965年 ハワイ大学 B.A.
 1970年 シカゴブリツカー大学医学部 M.D.
 1971-1976 ハーバード・メディカル・スクール
 精神医学臨床インストラクター
 1992-1997 ハーバード・メディカル・スクール
 精神医学準教授
 1996-1998 ソウルZ.コーエン、子どもメンタル・ヘルス
 ニューヨーク児童福祉ユダヤ人委員会
 1996年 米国マサチューセッツ州ボストン大学医学部教授
 1983年 ボストン・トラウマセンター設立



アメリカ・トラウマ・ネットワーク・ディレクター
 国際トラウマティック・ストレス学会会長 精神科医

佐藤 綾子先生

博士 (パフォーマンス心理学) 日本大学芸術学部 教授
 (社) パフォーマンス教育協会 理事長
 「佐藤綾子のパフォーマンス学講座」主宰
 長野県生まれ。信州大学教育学部、上智大学大学院文学研究科
 (MA取得)、ニューヨーク大学大学院パフォーマンス研究科修士課程卒業 (MA取得)。上智
 大学大学院博士後期課程満期修了。立正大学大学院心理専攻 (Ph.D.)。
 1980年、日本に初めて「日常生活における自己表現」の意味での社会学的用語として「パフォー
 マンス」の語を導入。
 以後「パフォーマンス学」の構築と自己表現教育での実践の道を歩み続け、この分野のバイ
 オニアであり、第一人者。
 政・財・医学界に多くの支持者を持ち、首相経験者はじめ多くの国会議員指導でも定評があり、
 広く社会人のプレゼンやスピーチの教育に情熱を注いでいる。ビジネスと人間関係づくりに
 直結するパフォーマンス研修は、「佐藤綾子のパフォーマンス学講座」(SPIS)として19年
 の歴史を持ち、すでに3100人の卒業生を社会に送り出している。そのサイエンスに基づい
 た確実な教え方には、常に高い評価が定着している。日本人の自己表現能力養成の功績によ
 り、社会教育功労者賞受賞。多くの研修希望者がウエイティング中。テレビ出演、新聞取材、
 雑誌連載(8誌)など多岐メディアにて活躍中。医療・政治・ビジネス・教育、各分野のパフォー
 マンス心理学に関する著書全168冊(2012年7月現在)。



吉田 紀子先生

鹿児島県日赤血液センター所長。
 昭和44年3月 鹿児島大学医学部医学
 科卒業鹿児島大学病院、シカゴ大学病院
 等で臨床医(循環器科・内科)18年間
 の後、昭和62年、予防医学と保健医療
 福祉政策の必要性を痛感し、行政に転
 換。県保健所長、県保健福祉部介護保
 険課長、県保健福祉部長を歴任する。
 平成20年4月より現職。ライフワーク
 は「共生・協働型全人的健康福祉のま
 ちづくり」。



菅沼 ひろ子先生

博士：看護学(助産師/保健師/看護師)
 宮崎県立看護大学教授(助産学/家族看護学)
 学歴：北里大学大学院看護学研究科博士課程後期修了。
 職歴：1972-1978 東京慈恵会医科大学付属病院勤務
 (産科病棟/ICU)6年間。
 1978-1994 東京聖母会聖母病院勤務
 (分娩室/産科棟)15年間。
 1997- 宮崎県立看護大学勤務。
 研究活動：生涯を通じた女性の健康とセルフ
 ケア：ことに女性が備えもつ能力や、先人が守り伝え
 てきた生活上の知恵、康のための工夫や対処法などに
 関心をもっている。



リーラーダ D.V. 先生

インド カルナータカ州 SULLIA 市
 KVG アーユルヴェーダ カレッジ、薬草・薬理学
 アシスタント・プロフェッサー



アニタ・カンナ 先生

ネール大学、言語・文学・文化研究学部、教授
 古事記・今昔物語をはじめとする、日本文学を
 研究されている。

仁田 新一先生

(社)日本統合医療学会理事長。心臓外科学を基礎に人工心臓のデザインから作成、動物実験、臨床応用など
 の研究に従事し、特に人工心臓の自動制御系の創生を世界に先駆けて果たした。その時の各種生体情報のセン
 サーの開発とその情報処理を統合医療の科学的評価法として新たに登場させた。文部科学省の振興調整費を4
 年に渡り受け、東洋医学の脈診の自動化、鍼の生体への影響などを自律神経情報を基に解析すると共に脳科学
 的に解析するなどの科学的検証と統合医療を用いた時の経済効果などの報告を行なった。また、東日本震災
 を契機に大災害復興のための統合医療の企画と実践を多職種チーム医療として展開している。この評価法を
 統合医療全般に応用しつつある。さらに、これらを国民に提供すべく統合医療の科学的及び臨床的実証の場を
 被災地に設けることを立案し、統合医療学会と地元自治体の連携で企画を進めている。



たつの ゆりこ先生

東京都世田谷区で Be born 助産院、産後養生院を
 開業。一般社団法人母と子のウェルネス研究会
 代表理事。アーユルヴェーダの基礎理論を元に母
 子支援活動者の育成を行っている。
 1999年までは鍼灸師として治療室 Be born を開業運営。
 大病院から自宅出産、地域母子支援活動まで幅広い業
 務経験を持つ。



西川 眞知子先生

(株)ゼロサイト 日本ナチュラルヒーリングセンター代表
 アーユルヴェーダ・デザインシステムインスティテュ
 ート校長。日本アーユルヴェーダ学会評議員。日本アーユ
 ルヴェーダ協会理事。上智大学外国語学部英語学科を経て、仏教
 大学にてインド哲学を学ぶ。第24代ミス横浜、米国ニューオリ
 ンズ世界万国博覧会(河川博)コンパニオンを務める。サッチダーナン
 ダをはじめ世界の著名なヨガ指導者のトレーニングを受け、指導者の資格を持つとと
 もに、日本ヨーガ学会常任理事の経歴を持つ。幼少時の病弱を自然療法やイメージ療法
 で克服したのをきっかけに、日本国内およびインド、米国、豪州、タイ、イラン、中国、
 チベット、イラン、カナダ、イギリス、フランス、韓国、バリ島などで自然療法および
 哲学を学び、35年以上にわたり約30000人に講演・指導活動を行なっている。
 アーユルヴェーダをはじめとする著書多数。

日本アーユルヴェーダ学会理事長 柴田 高志先生

(社)日本ヨーガ療法学会理事長 木村 慧心先生

アーユルヴェーダ Dr. イナムラ・ヒロエ・シャルマ先生

医師・医学博士 上馬場 和夫先生

2013 AYURVEDA YOGA IN MIYAZAKI

第35回 日本アーユルヴェーダ学会研究総会
 第11回 (社)日本ヨーガ療法学会研究総会
 in 宮崎

ストレス・ケアとスピリチュアリティ

平成25年 4月18日(木)~21日(日)

会場 フェニックス・シーガイア・リゾート

お問合せ 宮崎県ヨーガ療法士会 TEL:0985-42-6268 <http://www.ayurveda-yoga-miyazaki.com>

主催 日本アーユルヴェーダ学会 / (社)日本ヨーガ療法学会

後援 宮崎県 / 宮崎県教育委員会 / 宮崎市 / 宮崎県教育委員会 / 日南市 / 宮崎県医師会 / 宮崎県看護協会 / 宮崎県助産師会 / 宮崎統合医療研究会 / 宮崎県アーユルヴェーダ研究会 / 宮崎日日新聞社 / 宮日母子福祉事業団 / 朝日新聞社 / 毎日新聞社 / MRT 宮崎放送 / UMK テレビ宮崎 / 宮崎ケーブルテレビ



ご挨拶



宮崎県知事 河野 俊嗣

このたび「第11回(社)日本ヨーガ療法学会研究総会・第35回日本アーユルヴェーダ学会研究総会 IN 宮崎」が、日本国内外から多くの皆様をお迎えし、盛大に開催されますことを心から歓迎申し上げます。今回、両学会初の共同開催により、この宮崎市で記念すべき会が行われますことは非常に喜ばしく、光栄に思っております。

ヨーガやアーユルヴェーダには、リラクゼーションだけでなく、身体と精神のバランスを整え、心身ともに健康になるという効果があり、日本でも老若男女問わず多くの人々に親しまれております。この学会を通じ、更に両者の神髄に触れていただきたいと思っております。

また、昨年は、古事記編さん1300年を迎えた年でありました。更に平成32年は、日本書紀編さんから1300年という歴史的節目となりますので、県や県内の自治体とも連携し、神話のふるさと宮崎を強く発信していきたいと思っております。この宮崎は、古事記や日本書紀に登場する日向神話をはじめ、歴史ロマンを彷彿とさせる伝承地が数多く存在しております。長い年月にわたり受け継がれてきたこの地の神話、伝説、史跡をはじめ、多くの自然や、穏やかで優しい県民性にも触れ、宮崎の魅力を満喫してください。

最後になりましたが、学会の開催にあたりまして、ご尽力を賜りました関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本学会のご成功を祈念し、あいさついたします。

宮崎市長 戸数 正



日本アーユルヴェーダ学会・(社)日本ヨーガ療法学会 宮崎大会 プログラム

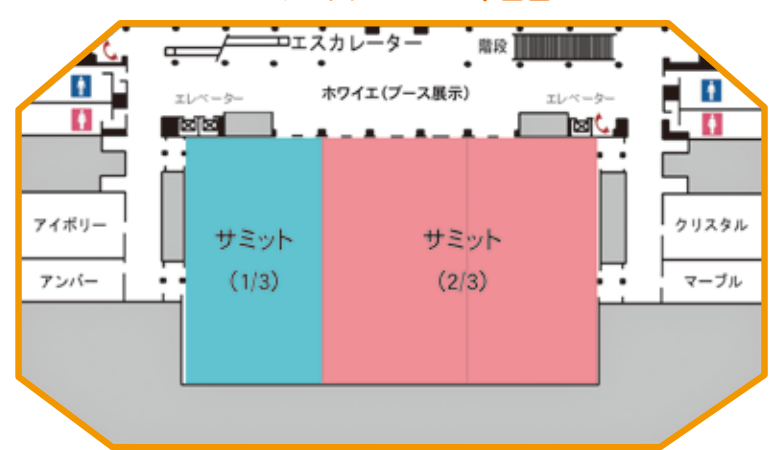
合同		日本アーユルヴェーダ学会 『こころと身体のアンチエイジング』 第35回日本アーユルヴェーダ学会大会長 緒方 盛道(大牟田共立病院 院長)	(社)日本ヨーガ療法学会 『ストレス・ケア～こころと身体のシンフォニー～』 第11回(社)日本ヨーガ療法学会大会長 森 憲正(宮崎大学名誉教授)
18日(木)	13:00-19:10	日本アーユルヴェーダ1dayセミナー初級・中級	
19日(金)	8:15～ 9:00-10:00	受付(2Fフロント) オープニングセレモニー★	
	10:00-11:45	日本アーユルヴェーダ一般研究発表★	10:00-11:00 吉田紀子先生「介護予防とヨーガ療法」★ 11:00-11:40 森憲正大会長講演「呼吸と心情」★
	11:40- 12:00-12:15 12:00-13:00	昼食弁当 配布 ランチョンセミナー★ 富岡楓實代「健康の里づくりとヨーガ療法～菊池市ヨーガボランティア講座におけるヨーガ療法指導報告～」	
	13:00-13:30 13:30-14:10 14:10-15:00 15:10-18:00	日本アーユルヴェーダ学会総会★ 印医漢方研究会★ クシャーラストラ研究会★ BAMS発表とディスカッション★ *「我が国のアーユルヴェーダのこれからを考える～その発展性と課題～」 座長:上馬場和夫、イナムラ・ヒロエ・シャルマ *カラリバヤットについてのお話と演武 ニデーシ・カリンビル先生、浅見千鶴子先生	13:00-14:00 佐藤綾子先生「信頼関係を作る自己表現」★ 14:00-17:00 ヴェッセル・ヴァンデル・コーク先生「米国のトラウマ患者に対する心理療法としてのヨーガ療法の実態」★ 17:00-18:00 仁田新一先生「統合医療の今後の展望」★
20日(土)	18:30-21:00	懇親会★	
	7:00-8:00	早朝ヨーガ(スクエア)	
	8:50-9:00 9:00-10:20 10:25-11:05 11:10-12:00	緒方盛道大会長挨拶★ リーラーダール先生「アーユルヴェーダの叡智による、美と健康に生かす薬草」★ 西川眞知子先生「ヨーガとアーユルヴェーダで美しく生きる」★ アニタ・カンナ先生「アーユルヴェーダ的生き方～日本文学から紐解く美へのまなざし～」★	10:00～ 日本ヨーガ療法学会ポスター発表★
	11:40- 12:00-12:15 12:00-13:00	昼食弁当 配布 ランチョンセミナー★ 福岡浩一「森林セラピー基地とヨーガ療法」	
21日(日)	13:00-13:30	(社)日本ヨーガ療法学会総会★	
	13:30-14:30 14:30-15:30 15:30-16:10 16:10-17:30 17:30-18:00	日本アーユルヴェーダ学会・日本ヨーガ療法学会 オーラル発表★ 菅沼ひろ子先生「妊娠とヨーガ～その効果の実際と現代女性にとっての意味～」★ たつのゆりこ先生「産前産後のアーユルヴェーディックケア」★ パネルディスカッション「ヨーガとアーユルヴェーダの産前産後の日常生活の過ごし方」★ 次期大会長挨拶・閉会の辞・日本ヨーガ療法学会学会賞★	
	9:30-11:30 12:00-13:00	日本ヨーガ療法学会市民公開講座:木村慧心先生★ 日本アーユルヴェーダ学会市民公開講座:クリシュナU.K.先生★	
			★・・・サミットホール1/3 ★・・・サミットホール2/3

フェニックス・シーガイア・リゾート ACCESS MAP



●JR宮崎駅より車で約20分 ●宮崎港より車で約10分 ●宮崎空港より車で約30分
●九州自動車道宮崎インターチェンジより、ツル葉有料道路を利用し、住吉インターチェンジまで15分。
延岡方面からも国道10号線よりツル葉有料道路を利用し、住吉インターチェンジまで(延岡からは約2時間)

4F サミットホール 平面図



宮崎県宮崎市山崎町浜山
お問い合わせ 0985-21-1111

認定ヨーガ療法士・教師の単位
日本ヨーガ療法学会への参加・・・6単位 日本ヨーガ療法学会への参加+発表・・・8単位 日本AV学会への参加・・・4単位
例)日本ヨーガ療法学会(発表は無し)と日本AV学会の両方に参加した場合
・・・6+4=10単位

